

情報連絡員総括表（2019年5月）

－ 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の景気動向
 - 1) 業界の経営動向
 - 2) 主要三指標における DI 値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(\text{好転組数} - \text{悪化組数}) / \text{調査対象組数}] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI 値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

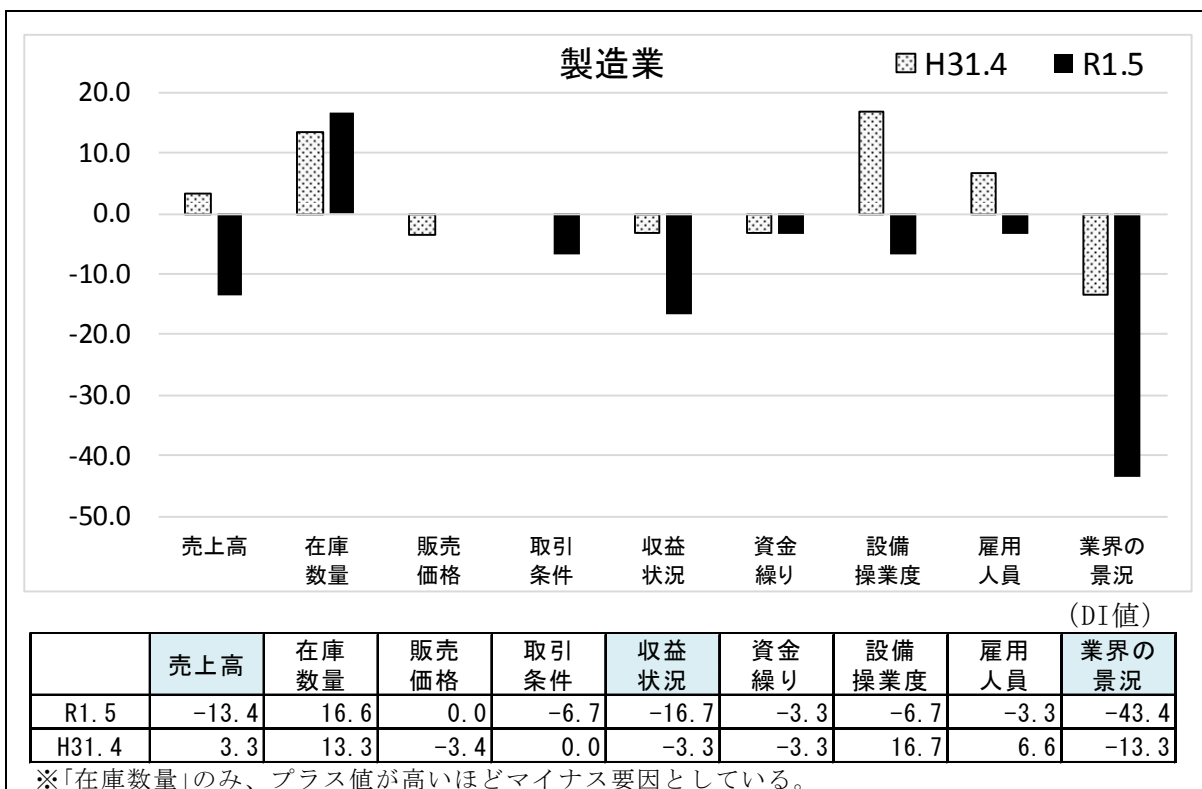
1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

- 2019年5月のDI値は、全9指標において悪化する結果となった。特に「業界の景況」は18.3ポイント低下し、全回答の約半数が「悪化」と回答し、-38.3となった。
- 「製造業」では、前月との比較において全9指標中7指標が悪化した。「販売価格」は3.4ポイント上昇したが、「悪化」から「不変」への変化が主な要因である。米中貿易摩擦が各業界に悪影響を与えている。
- 「非製造業」では、前月との比較において全8指標中「在庫数量」「取引条件」を除く6指標が悪化。大型連休が好影響を与えず、また連休後の落ち込みも悪化の要因となった。

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
R1.5	-15.0	4.7	-5.0	-10.0	-21.7	-13.3	-6.7	-15.0	-38.3
H31.4	-3.3	4.6	-3.3	-8.3	-10.0	-6.6	16.7	-6.6	-20.0
差	-11.7	0.1	-1.7	-1.7	-11.7	-6.7	-23.4	-8.4	-18.3

◎前月・今月の前年同月比DI 値を比較すると、(製造業・非製造業別)

【製造業】



【製造業】では、

主要3指標のDI値は、売上高 -13.4、収益状況 -16.7、業界の景況 -43.4 となった。

前月との比較においては、「販売価格」が改善、「資金繰り」が横ばい、それ以外の7指標が悪化する結果となった。

7指標の悪化した要因としては、主に一般機器、輸送用機器の悪化件数の増加が挙げられる。

◎自由回答より

(水産食品製造業)

- ・副資材、運送費等の値上げが相次ぎ、経費増になる分を販売価格に転嫁できず収益が低下し苦しい状況。

(織物業)

- ・主力の浴衣の販売が昨年同様に前年割れで、経営不振が続く。

(木材・木製品製造業)

- ・昨年は、メイン機械の故障で生産量が激減したうえ、機械の修理に多額の費用がかかり苦勞した。今年は原木の入荷は少ないものの、目立った故障も無く、4人減った従業員の穴もそれほど感じずに推移している。
- ・売上・利益ともに増加しているが、昨年同月が悪過ぎた為である。働き方改革等も含め人員増員している為、固定費が上昇し損益分岐点も上昇している。仕事量に対して利益が確保しづらい状況になってきた。

(印刷業)

- ・紙不足であるのに加え、紙の値上がりが業界の景況に影響している。

(セメント製品製造業)

- ・売上高前年比 18.2%増であるが、原材料価格の値上げが厳しい。

(金属製品製造業)

- ・アメリカの輸入品に対する関税引き上げ要求が、他の産業と同様に鍍金業界にも大きな影響を及ぼすと思われる。

(生産用機械器具製造業)

- ・米中貿易摩擦の影響で仕事量が減少している。中国の経済状況による冷え込みが懸念される。
- ・今年に入って納期の繰り延べがみられ、最悪キャンセルにならないか危惧している。

(電気機械器具製造業)

- ・天候にも恵まれて、家庭用・業務用エアコンは引き続き高水準の生産が継続している為、多くの組合員は繁忙状態が続いている。

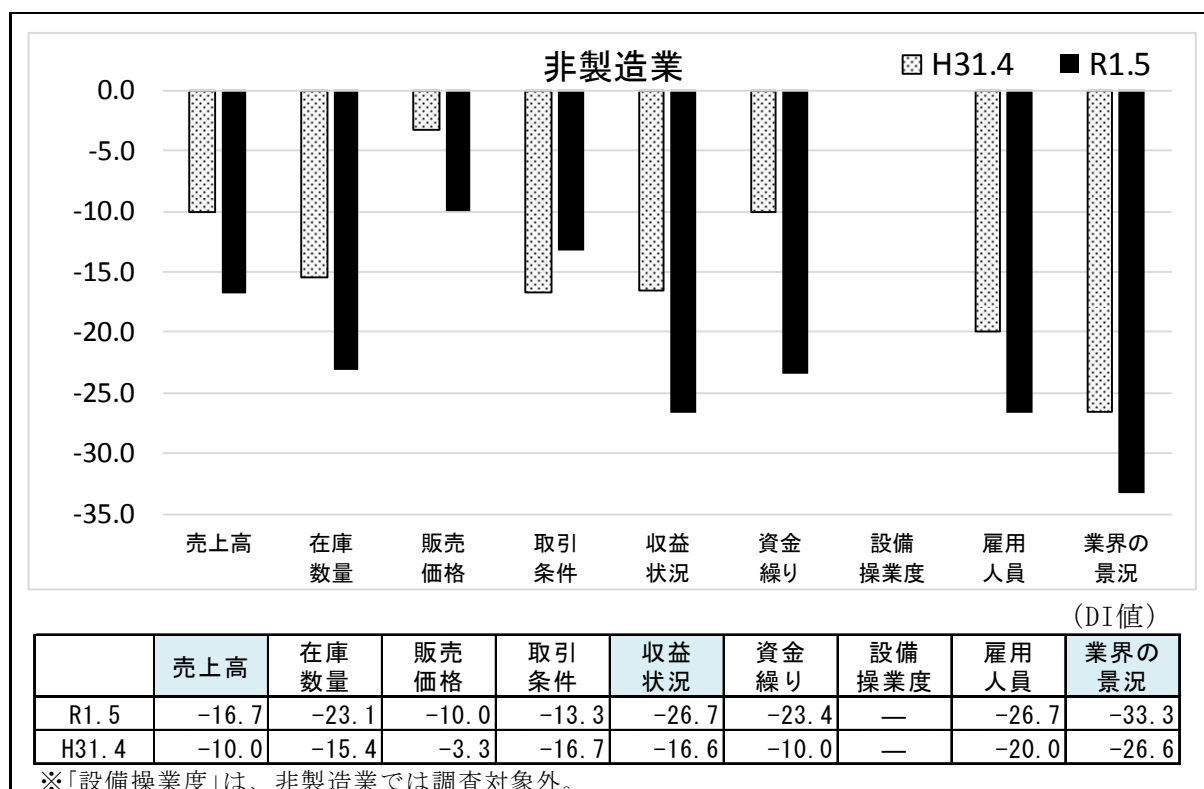
(輸送用機械器具製造業)

- ・引き続き中国経済の減速により景気の後退が見られる。
- ・年次計画に対し直近の生産量が減少しており、仕掛かり在庫が増加している。今後の見通しも不透明。

(その他製造業)

- ・取引先工場からのライン移設に伴い、関連する組合員企業で売上高が増加傾向にあるものの、全体的には大きな増加は見られない。

【非製造業】



【非製造業】では、

主要3指標のDI値は、売上高 -16.7、収益状況 -26.7、業界の景況 -33.3となった。前月との比較においては、「在庫数量」「取引条件」が改善し、6指標が悪化する結果となった。6指標の悪化した要因としては、主に小売業、建設業の悪化件数の増加が挙げられる。

◎自由回答より

(セメント卸売業)

- ・公共関連工事の需要が無く、連休後も出荷量は低調で過去最低月を更新、前年同月実績が3ヵ月ぶりに大幅マイナスとなった。

(機械器具小売業)

- ・白物家電の売れ行きが依然好調。暑い日が続いたからか、5月中旬ころから冷蔵庫、エアコン等の受注が増えている。

(鮮魚小売業)

- ・特にゴールデンウィーク後は来客数・客単価の落ち込みが続いており、鮮魚小売業においては厳しい状況である。また、人材確保が難しい。

(商店街)

- ・元号が変わり期待をしたが、相変わらず天候異変もあり売り上げ不振だった。
- ・令和の看板を歩道上に設置したところ多くの歩行者が写真を撮っていた。横断幕や街路灯に国旗を掲揚するなどのお祝いもした。また、様々な行事を実施し、とても賑わいのあるゴー

ルデンウィークだった。

- ・ゴールデンウィークは入館者は多かったが、あまり売上げに繋がらなかった。
- ・各店舗に後継者がいないことが大きな問題となっている。

(宿泊業)

- ・10連休の影響で、通常のゴールデンウィークより賑わったが、反動でその後の予約が低迷している。

(情報サービス業)

- ・県内地方銀行の問題の余波で、一部の組合員で大きな影響が出ている。

(総合工事業)

- ・人手不足が続いている。魅力ある業種にする為、担い手の確保・働き方改革・労務単価等課題が山積している。
- ・鉄骨の建築現場で昨年からの高力ボルト不足が解消されずにいる。更に職人不足も顕著で仕事に遅れが出ている。

(識別工事業)

- ・高力ボルトの不足状況が改善されず着工にブレーキがかかったままで、依然手余りの状態が続いている。夏以降には徐々に着工の兆しが見えてきているが、人手不足が心配。直近で着工が早い物件は安価傾向の兆しだが、長期的には価格にそれほどの下落感はない。

(道路貨物運送業)

- ・大型連休の影響で連休明けまで荷動きは低調であった。中旬以降徐々に回復するものの例年には及ばなかった。車両についても荷動きの低調に連動する形で、県内に流入する車両が少なかった。
- ・荷動きは落ち着いているが、軽油価格が相変わらず上昇している。

2. 項目別の景気動向 (前年同月比DI値のH31.3~H31.4における推移)

<売上高>

DI値	製造業		非製造業		全体	
R1.5	-13.4	16.7ポイント低下	-16.7	6.7ポイント低下	-15.0	11.7ポイント低下
H31.4	3.3		-10.0		-3.3	

売上高における全体のDI値は、前月より11.7ポイント低下し-15.0。

製造業 は、前月より16.7ポイント低下し-13.4。「増加」した先は対象先30件の内7件で、木材・木製品、窯業・土石製品が各2件、食料品、電気機器、輸送用機器が各1件。「減少」した先は11件で、繊維工業、木材・木製品、一般機器、輸送用機器が各2件、印刷業、窯業・土石製品、鉄鋼・金属工業が各1件であった。

非製造業 は、前月より6.7ポイント低下し-16.7。「増加」した先は対象先30件の内7件で、サービス業、運輸業が各2件、小売業、商店街、建設業が各1件。「減少」した先は12件で、小売業が4件、卸売業、商店街、運輸業が各2件、サービス業、建設業が各1件であった。

<在庫数量>

DI値	製造業		非製造業		全体	
R1.5	16.6	3.3ポイント悪化	-23.1	7.7ポイント好転	4.7	0.1ポイント悪化
H31.4	13.3		-15.4		4.6	

在庫数量における全体のDI値は、前月より0.1ポイント悪化し4.7。

製造業 は、前月より3.3ポイント悪化し16.6。「増加」した先は対象先30件の内7件で、食料品が2件、木材・木製品、窯業・土石製品、一般機器、電気機器、輸送用機器が各1件。「減少」した先は2件で、繊維工業、木材・木製品が各1件であった。

非製造業 は、前月より7.7ポイント好転し-23.1。「増加」した先は無く、「減少」した先は対象先30件の内3件で、小売業が2件、卸売業が1件であった。

<販売価格>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
R1.5	0.0	3.4 ポイント上昇	-10.0	6.7 ポイント低下	-5.0	1.7 ポイント低下
H31.4	-3.4		-3.3		-3.3	

販売価格における全体のDI 値は、前月より 1.7 ポイント低下し -5.0。

製造業 は、前月より 3.4 ポイント上昇し 0.0。「上昇」した先は対象先 30 件の内紙加工品の 1 件。「悪化」した先は木材・木製品の 1 件であった。

非製造業 は、前月より 6.7 ポイント低下し -10.0。「上昇」した先は対象先 30 件の内 5 件で、運輸業が 2 件、小売業、サービス業、建設業が各 1 件。「悪化」した先は 8 件で、建設業が 3 件、小売業が 2 件、卸売業、商店街、サービス業が各 1 件であった。

<取引条件>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
R1.5	-6.7	6.7 ポイント低下	-13.3	3.4 ポイント上昇	-10.0	1.7 ポイント低下
H31.4	0.0		-16.7		-8.3	

取引条件における全体のDI 値は、前月より 1.7 ポイント低下し、 -10.0。

製造業 は、前月より 6.7 ポイント低下し -6.7。「好転」した先は対象先 30 件の内木材・木製品の 1 件。「悪化」した先は 3 件で、繊維工業、木材・木製品、鉄鋼・金属工業の各 1 件であった。

非製造業 は、前月より 3.4 ポイント上昇し、 -13.3。「好転」した先は対象先 30 件の内 2 件で、建設業、運輸業が各 1 件、「悪化」した先は 6 件で、小売業が 2 件、卸売業、サービス業、建設業、運輸業が各 1 件であった。

<収益状況>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
R1.5	-16.7	13.4 ポイント低下	-26.7	10.1 ポイント低下	-21.7	11.7 ポイント低下
H31.4	-3.3		-16.6		-10.0	

収益状況における全体のDI 値は、前月より 11.7 ポイント低下し -21.7。

製造業 は、前月より 13.4 ポイント低下し -16.7。「好転」した先は対象先 30 件の内 6 件で、木材・木製品が 2 件、食料品、鉄鋼・金属工業、電気機器、輸送用機器が各 1 件。「悪化」した先は 11 件で、木材・木製品、窯業・土石製品、輸送用機器が各 2 件、食料品、繊維工業、印刷業、鉄鋼・金属工業、一般機器が各 1 件であった。

非製造業 は、前月より 10.1 ポイント低下し -26.7。「好転」した先は対象先 30 件の内 3 件で、小売業、サービス業、建設業が各 1 件。「悪化」した先は 11 件で、小売業が 4 件、卸売業、建設業が各 2 件、商店街、サービス業、運輸業が各 1 件であった。

<資金繰り>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
R1.5	-3.3	0.0 ポイント同値	-23.4	13.4 ポイント低下	-13.3	6.7 ポイント低下
H31.4	-3.3		-10.0		-6.6	

資金繰りにおける全体のDI 値は、前月より 6.7 ポイント低下し -13.3。

製造業 は、前月と同値の -3.3。「好転」した先は対象先 30 件の内 3 件で、食料品、電気機器、輸送用機器が各 1 件。「悪化」した先は 4 件で、食料品、繊維工業、木材・木製品、窯業・土石製品が各 1 件であった。

非製造業 は、前月より 13.4 ポイント低下し -23.4。「好転」した先は対象先 30 件の内運輸業の 1 件。「悪化」した先は 8 件で、小売業が 3 件、商店街が 2 件、卸売業、サービス業、建設業であった。

<設備操業度> ※製造業のみ

DI値	製造業		非製造業		全体	
R1.5	-6.7	23.4ポイント低下			-6.7	23.4ポイント低下
H31.4	16.7				16.7	

設備操業度におけるDI値は、前月より 23.4ポイント低下し -6.7。

「上昇」した先は対象先 30 件の内 7 件で、木材・木製品が 2 件、食料品、繊維工業、鉄鋼・金属工業、電気機器、輸送用機器が各 1 件。「悪化」した先は 9 件で、繊維工業、一般機器、輸送用機器が各 2 件、食料品、木材・木製品、鉄鋼・金属工業が各 1 件であった。

<雇用人員>

DI値	製造業		非製造業		全体	
R1.5	-3.3	9.9ポイント低下	-26.7	6.7ポイント低下	-15.0	8.4ポイント低下
H31.4	6.6		-20.0		-6.6	

雇用人員における全体のDI値は、前月より 8.4ポイント低下し -15.0。

製造業 は、前月より 9.9ポイント低下し -3.3。「増加」した先は対象先 30 件の内 5 件で、木材・木製品が 2 件、食料品、繊維工業、鉄鋼・金属工業が各 1 件。「減少」した先は 6 件で、窯業・土石製品が 2 件、食料品、繊維工業、木材・木製品、一般機器が各 1 件であった。

非製造業 は、前月より 6.7ポイント低下し -26.7。「増加」した先は対象先 30 件の内運輸業の 1 件で、「減少」した先は 9 件で、建設業が 3 件、サービス業が 2 件、卸売業、小売業、商店街、運輸業が各 1 件であった。

<業界の景況>

DI値	製造業		非製造業		全体	
R1.5	-43.4	30.1ポイント低下	-33.3	6.7ポイント低下	-38.3	18.3ポイント低下
H31.4	-13.3		-26.6		-20.0	

業界の景況における全体のDI値は、前月より 18.3ポイント低下し -38.3。

製造業 は、前月より 30.1ポイント低下し -43.4。「好転」した先は対象先 30 件の内電気機器の 1 件。「悪化」した先は 14 件で、輸送用機器が 3 件、繊維工業、木材・木製品、鉄鋼・金属工業、一般機器が各 2 件、食料品、印刷業、窯業・土石製品が各 1 件であった。

非製造業 は、前月より 6.7ポイント低下し -33.3。「好転」した先は対象先 30 件の内 2 件で、建設業、運輸業が各 1 件。「悪化」した先は 12 件で、小売業が 4 件、卸売業、商店街、建設業が各 2 件、サービス業、運輸業が各 1 件であった。

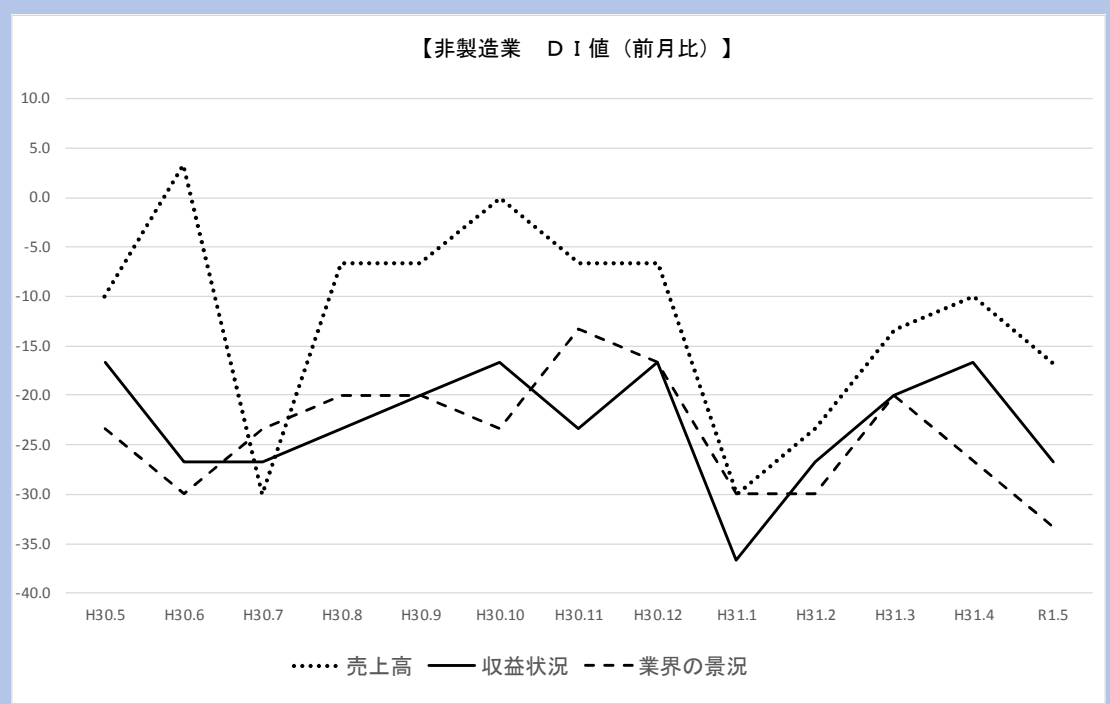
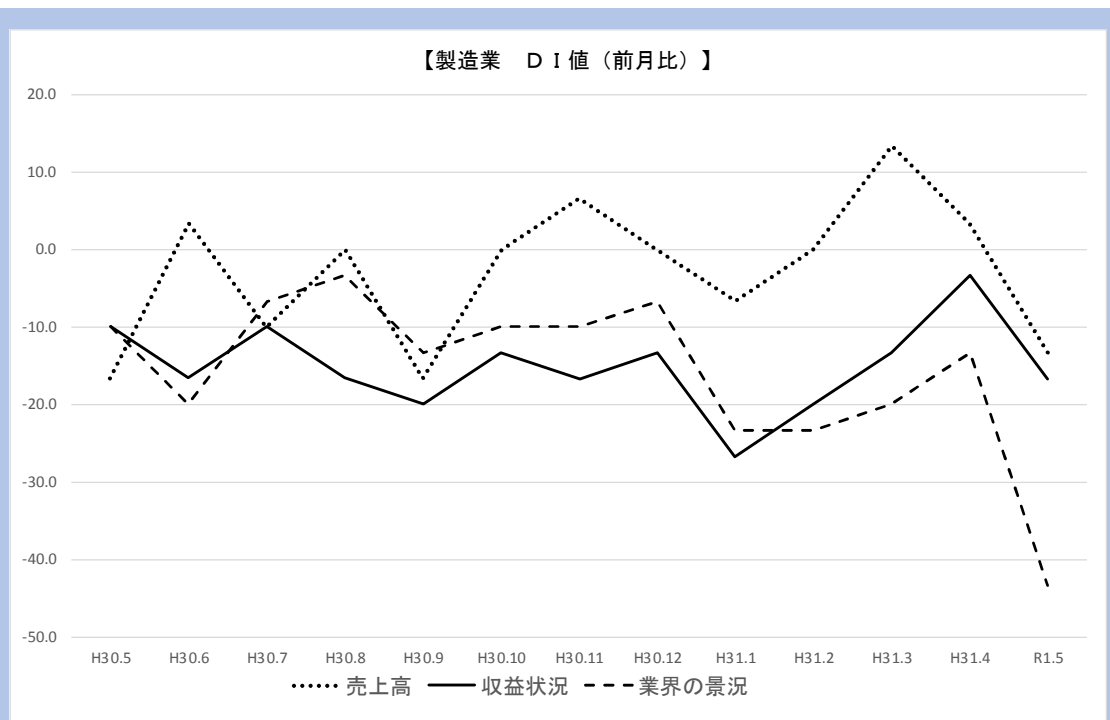
以上

■ 2018年5月期～2019年5月期までの推移

全体	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5
売上高	-13.3	3.4	-20.0	-3.3	-11.7	0.0	0.0	-3.3	-18.4	-11.6	0.0	-3.3	-15.0
収益状況	-13.4	-21.7	-18.4	-20.0	-20.0	-15.0	-20.0	-15.0	-31.7	-23.4	-16.7	-10.0	-21.7
業界の景況	16.6	-25.0	-15.0	-11.7	-16.7	-16.7	-11.7	-11.7	-26.7	-26.7	-20.0	-20.0	-38.3

製造業	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5
売上高	-16.6	3.3	-10.0	0.0	-16.7	0.0	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4
収益状況	-10.0	-16.6	-10.0	-16.6	-20.0	-13.3	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7
業界の景況	-10.0	-20.0	-6.7	-3.4	-13.3	-10.0	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4

非製造業	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5
売上高	-10.0	3.3	-30.0	-6.7	-6.7	0.0	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7
収益状況	-16.6	-26.7	-26.7	-23.3	-20.0	-16.7	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7
業界の景況	-23.4	-30.0	-23.3	-20.0	-20.0	-23.3	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3



■2018年5月期～2019年5月期までの推移

売上高	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5
製造業	-16.6	3.3	-10.0	0.0	-16.7	0.0	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4
非製造業	-10.0	3.3	-30.0	-6.7	-6.7	0.0	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7

収益状況	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5
製造業	-10.0	-16.6	-10.0	-16.6	-20.0	-13.3	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7
非製造業	-16.6	-26.7	-26.7	-23.3	-20.0	-16.7	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7

業界の景況	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5
製造業	-10.0	-20.0	-6.7	-3.4	-13.3	-10.0	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4
非製造業	-23.4	-30.0	-23.3	-20.0	-20.0	-23.3	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3

